



シルバー所沢

第104号

2008年10月25日

つどいの樹

発行：社団法人所沢市シルバー人材センター 編集/広報部会
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2
☎ 04-2928-8695/FAX 04-2924-0630
ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

- ▼もくじ▲
- 1頁 創立30周年記念式典
 - 2頁 式典挨拶、樋口恵子氏講演
 - 3頁 創立30周年記念式典、感謝状
贈呈、清掃ボランティア
 - 4頁 会員作品展、ボウリング大会
中長期基本計画策定の主旨
 - 5頁 会員親睦旅行記、薄学駄話
 - 6頁 部会・委員会報告、理事会報告
 - 7頁 地区委員会、表具職班の活動
 - 8頁 職場訪問記、一口健康メモ
 - 9頁 みんなの広場、悠和会たより
 - 10頁 シルバー豆宣伝、お知らせ、
あとがき

祝 創立30周年



講演 樋口恵子氏



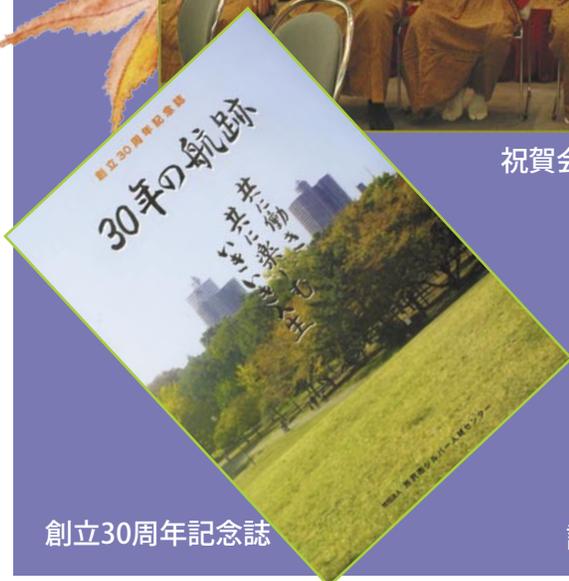
挨拶 小林晟理事長



祝賀会風景



祝辞 当麻よし子市長



創立30周年記念誌



記念品



創立30周年記念特集号

創立30周年記念を迎えて

ごあいさつ



理事長
小林 晟
本日、ここに

社団法人所沢市シルバー人材センター創立30周年記念式典にあたり当麻市長様をはじめ、ご来賓各位のご臨席を賜り、加えて多くの会員皆様のご出席をいただき、このように盛大に開催できましたことは大きな喜びでございます。

当センターは昭和53年10月に会員151名により所沢市高齢者事業団を発足、昭和57年4月に埼玉県下初の法人化となり、のち社団法人所沢市シルバー人材センターと改名し、現在に至っております。地域社会の発展のため「共働・共助、自主・自立」の理念の基、諸先輩方のご努力と会員諸氏の真摯なご尽力により全国に誇れるシルバー人材センターとして成長することが出来ました。

更に活力ある組織とするため、総力をあげて取り組み、組織の充実と地域皆様の期待に応えるよう、今後とも会員皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念してご挨拶と致します。

先を見据えて



専務理事兼
事務局長
森田 勝治

今日ある輝かしい当センター30年の実績は、様々な課題を全会員の皆様が一致協力し、勇気をもって解決策を求めてきた結果と、心から敬意を申し上げます。

また、新しい理念のもとに、埼玉県下第1号のシルバー人材センターとして設置されたことも、先人各位の先見性に改めて感謝いたします。

今後、この偉大な実績を更に積み重ねていかなければならない責務を感じております。幸い、就業意欲旺盛でお元気な2千余名の会員の方々が、毎日胸を張って活躍されておられますことや、この程、5年、10年先を見据えて一定の方向性を定めた中・長期基本計画も策定されました。いかにして計画から実施への手順を成し遂げていくかに係るものと考えております。

また、会員相互の親睦の輪が広がっていく悠和会の組織力はセンター事業に大きく寄与して下さるものと確信しております。

これからの人生をセンターと共に、明るく元気に胸を張って歩いていこうではありませんか。

人生100年の生き方



創立30周年記念講演
評論家 樋口恵子先生

日本国は、高齢化という3つの金メダルをとつていきます。①平均寿命②高齢化

の比率③高齢化のスピードです。この国の風土の中で、平和で一定の豊かさがあれば、人生100年も夢ではありません。かつては人生50年でしたが、人生100年と標準が変わっていく時代に、私たちは幸運にも生きていくのです。年と共に所々の修理は必要でしょうが、定年後何もしないで

のんびりと……と言っていますと、即要介護になりかねません。間違いないく21世紀は高齢者世紀で、2055年には65才以上が約4割の社会になります。人生百年丸の船に乗り組み、主役の一人となって提案しましょう。長生きの今は、祖父母が健在です。その知恵や体験を、地域の世代交流の中でどんどん広げて、若者からもまた学び、教えあう役割があるのではないのでしょうか。

ある少女が祖母や母の働く姿を見て「私もお仕事ママになりたい云々・・・」と言った話もあります。高齢者は、働きすぎはいけません。が、仕事の仕方を工夫しながら、得意な分野だけでなく、初めて経験する仕事でも、金銭にもこだわらず、世間体も気にしない、自分の意志で働く、ゆとりを持って働く。

まさにシルバー人材のはたらき方で、地域社会にも大きな貢献となり、なによりも、最大の介護予防の力になることは間違いありません。仕事が人と人を結び、地域をつくり、人々を成長させる。

日々仕事を通して自己実現の場とし、能力を伸ばす、それがシルバー人材で働く皆さんのことです。長寿は不変化し、何事も自分の意志で選択が出来る今の時代に生まれたことに感謝し、汗を流しましょう。命があれば何でも出来ます。20年30年先を見据えた夢の出発点として……

最後に樋口先生の好きな言葉を「もったいない」「何かお役に立つことなら」と締めていただきました。30周年にふさわしい素晴らしい講演を聴いて皆様拍手喝采でした。(高柳記)

創立30周年記念式典

10月15日(水)午後1時より、くすのきホールで所沢市シルバー人材センター創立30周年記念式典が盛大に行われました。

評論家・樋口恵子先生による記念講演の後式典に入り、お世話になった方々への感謝状贈呈、当麻よし子市長による来賓挨拶と続き、大変意義深い式典は、4時に閉会し席を移して祝賀会となりました。

祝賀会は重松流の笛や太鼓の音の流れる中、祝賀ムードに包まれ、集まった人たちは共に祝い、「もう齢だからと思っていたが、樋口さんの話を聞いて、またシルバーで働く意欲が湧いてきた」「人生楽しく、これからだ」と

笑顔でグラスを傾けながら、働く喜びとセンターの発展を願い、輝かしい節目を迎えたこの日を祝いました。(中村記)



感謝状贈呈

発注元の企業に対し、日頃のお礼を申し上げ、感謝状と記念品を贈呈いたしました。

協賛団体(敬称略)

- シチズンビジネスエキスパート(株) スーパーバッグ(株)
 - (株)ダイエー所沢店
 - (宗)狭山山不動寺
 - (財)所沢市公共施設管理公社
 - 所沢商店連合会
 - (株)ヤオコー所沢北原店
 - 西武緑化管理(株)
 - (株)コーワスプリング
 - (株)西友小手指店
 - (株)西友新所沢店
 - (株)西友所沢駅前店
 - (株)西友所沢花園店
 - 西武鉄道(株)西武園ゴルフ場
 - 西武鉄道(株)西武園ゆうえんち
 - 西武鉄道(株)狭山スキー場
 - (株)木下フレンド
- 賛助会員(敬称略)**
- 所沢商工会議所
 - (有)第一物産
 - (株)ダイマツ
 - (株)武蔵野銀行所沢駅前支店



- ミサワ保険サービス(株)
- (有)佐野屋商店
- (有)キタダ印刷
- 小泉商店



創立30周年記念行事

清掃ボランティア

10月3日(金) 秋晴れで清掃はうってつけの日和です。

理事長をはじめ、約60名の参加者。田中実行委員長の挨拶、リーダー渡辺さんのユーモアを交えた作業内容の説明を聞き、4班に分かれ夫々の場所で作業開始しました。

私達は市役所前から県税事務所までの広い道を担当しました。タバコの吸殻などは少なく、季節柄やはり落ち葉が多い。時折涼しい風が通りぬけて、何と心地よいことでしょう。作業中、県税事務所の方から「ご苦労さま」と声をかけられ、いっそう元気がでる。他の班でも通行人や自転車置き場の係りの方が、わざわざ



集合場所で～す



4班に分かれま～す



女性は真剣!

男性もハリキッテます。



ざ出てこれられ「ありがとう」と声をかけてくださったとのこと。落葉を詰めた袋を整理し、清掃した道を歩き、集合場所へ向う道すがら、誰が言うことなく「きれいになりましたね」と語り合いました。冷たいお茶の美味しかったこと。これからもシルバー主催の「地域社会へ恩返し」ボランティア活動が実行されますことを願っています。

(実行委員 烏山あい子)

会員作品展

創立30周年記念行事

芸術の秋

会員の趣味特技とされる作品が、10月8日から4日間、第2市民ギャラリーにて、芸術の秋に相応しい絵画・書・写真・手工芸品など、会員57名(128点)の作品が見事に披露されました。

会員の方々は、趣味や特技を活かし、生活をより豊かに楽しんでおられます。その成果を発表出来る場となった今回の作品展は何れも力作揃いで、駅に近い為か一般の方々の来場者もあり、感動とお褒めの声を頂きました。
次回は、あなたの作品を待っています。(高柳記)



*技能職会員の包丁研ぎとデジカメサービスも大盛況でした!

ボウリング大会

創立30周年記念行事

10月6日(月)『健康増進と親睦を深め、かつ趣向を凝らした』記念大会が、100名の参加を得て、所沢スターション全館貸切で開催されました。

小林理事長等の始球式の後、競技が始まり各レーンからは拍手と歓声が上がリ、熱気溢れる大会となりました。

*大会結果

- 1位 近藤宗一氏
- 2位 富岡多助氏
- 3位 千葉タマ子氏

(実行委員 齋藤功)



中・長期基本計画を策定

中・長期計画策定委員会

平成20年度から平成29年度における基本計画が、中・長期計画策定委員会において一年半をかけ、現状の分析から未来への展望について協議検討いたしました結果、団塊世代への対応・会員の意識・役員及びセンター事務局の意識・発注者へのサービス向上等を中心に計画を策定いたしました。

創立30周年を迎えた当センターは、地域に根付く躍進するセンターにふさわしい中長期基本計画書に沿って会員・役員・事務局員一体になり邁進して参ります。

皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



悠和会 旅行記

9月18日(木)から19日(金)にかけ、11人の会員がバス3台に分乗、紅葉間近い越後路に向いました。

関越道塩沢石打ICを降り、先ずは日本三大渓谷の一つといわれる上信越高原国立公園「清津峡」を目指す。10年程前に開通したトンネルの突端では、眼前のV字に切り立つ峡谷の、柱状節理と呼ばれる角岩の積み重なる景観と、清流の美しさにしばし堪能。例年はGW頃まで残雪があり、寒暖の差も大きく、紅葉と岩礁の見事な調和で人気が高いと聞く。

今宵の宿は、新潟の奥座敷と言われる月岡温泉京風の宿「清風苑」。「もつと美人になれる温泉」と評判で、参加の女性軍に一夜にしてその薬効あらたかとなれば、男性軍が目をみはり、圧倒されるのでは…との心配?の声も聞こえたとか。

旅行最大のイベント「夜の宴」は悠和会渡辺会長の挨拶に続き、小林理事長の乾杯で幕が開き、事務局小林さんの司会のもと、すっかり打ち解けた仲間同士が、日頃の就業活動の疲れを忘れて、のど自慢のカラオ

ケや、お馴染みとなった新井サキさん(三ヶ島地区)と小松亮司さん(山口地区)による舞踊、そして初参加の品川和子さん(新所沢地区)の安来節などの熱演にやんやの喝采。時間を忘れての懇親は、最高の盛り上がりの中で森田専務理事の一本締めで終了となりました。

翌日は、洋食器の展示館、酒造会社見学につづいて、越後平野の中央、弥彦山の麓に鎮座します弥彦神社。地元では、「おやひこさま」と呼ばれて親しまれ、万葉集にも歌われた古い社。ここで二度目の記念撮影。

昼食は寺泊の飛鳥ホテル。出された味噌汁は、普通の三杯分の大きさのお椀。海老・蟹の入った味の良さと共に驚く。魚市場では、我がSCの会員就業先である北中の角上魚類さんの本社があり、皆さん元気で参加できた事の喜びと、支えてくれる家族への感謝をお土産に託しての買い物。その後関越道に入り、途中のSAで休憩のあとは、我が家に向け帰路につきました。

私の乗った2号車では、高速道に入っただけで始まったカラオケの競演が、所沢IC到着まで間断なく続き、皆さん満足したようでした。

台風接近の予報の中、現地は全くの好天で、日頃の行いが幸いした善男善女は、楽しく有意義な思い出を刻む事が出来ました。

また、元気で会いましょう。色々とお世話をお願いした幹事の皆さん、誠に有難うございました。

(赤沢記)



1号車



2号車



3号車

はくがくだわー 薄学駄話

みやげと餞別

おみやげは漢字では「お土産」となり、土地の産物を持ち帰ることと理解していると思います。しかし本来の『みやげ』の意味は違います。『みやげ』は本来、『みやげ宮筒』と書き、お宮でもらう木のお札のことをいいます。お宮とは伊勢神宮のことです。昔、伊勢から遠く離れた地方に住む人々にとって、お札をもらいに行くことは実に大変な事だったので。

お札をもらいに行く人は、村でも特に頑強な人が選ばれました。村人はその使者にお賽銭を渡し、自分の祈願を託しました。託された使者は村人に代わって祈願をし、お札『みやげ筒』を授かり、皆が待つ村に持って帰ります。これが『みやげ』です。

(後に宮内の^{みやない}出店^{でみせ}で、土地の物も買うようになり「お土産」となる)

しかし、遠い伊勢参りです。その頑強な人でさえ、お賽銭を渡したものの、帰ってこないことも多くあったようです。『餞別』が今生の別れに使われるようになったのはこんな背景があるようです。(志賀記)

就業適正委員会の活動

今年度も要綱に基づく適正かつ公平な就業機会を会員の皆様に提供するため、努力をして参ります。

その主な内容は、

- ① 就業期間満了等の通知
- ② 就業期限の確認
- ③ ローテーション就業の積極的な取組を推進
- ④ 就業年齢制限を超えた会員への安全就業の確認、相談
- ⑤ 不適正就業に対する対応としては、改善、指導、勧告、です。ご理解、ご協力をお願い致します。

道路には危険が一杯!

会員安全就業推進委員会

7月27日午後2時頃、三ヶ島5丁目市道で、広報ところざわを配布中の会員が、後ろから来た乗用車に撥ねられ頭を強打、残念ながら亡くなる悲しい事故が発生しました。



道路には危険が一杯です。横断歩道を歩いているからと言っても安心できません。まして横断歩道の無いところでの横断や、自転車乗車中には危険があふれています。十分に注意しましょう!

渡る道路に鬼(交通事故)ばかり! 歩道も油断は禁物!

横断中も周囲に目配り! 左右を確認 遠くに見えても車は早い! 一寸待つ 体力・視力・聴力も低下! 注意力低下



いつでもどこでも安全確認!



*女性の《転倒事故》多し!!

守りましょう! サドルは低く・背筋を伸ばし・スピードは控えめに。

理事会 報告

平成20年度(3回)理事会 平成20年6月30日(月)

審議事項 1、正会員として入会の承認を求める件について

新入会員登録者40人、退会者26人

*承認

2、橋本副理事長の副理事長職及び事業部会員の辞意にもとづいて、理事長の事業部会長兼務の承認を求める件について

*承認

報告事項 各部会・委員会活動状況について説明報告

平成20年度(4回)理事会 平成20年7月31日(木)

審議事項 1、正会員として入会の承認を求める件について

新入会員登録者28人、退会者92人

*承認

報告事項 各部会・委員会活動状況について説明報告

平成20年度(5回)理事会 平成20年8月29日(金)

審議事項 1、正会員及び賛助会員として

入会の承認を求める件について

新入会員登録15人、退会29人、賛助会員5法人

*承認

2、中長期基本計画策定について

*承認

報告事項 各部会・委員会活動状況について説明報告

平成20年度(6回)理事会 平成20年9月30日(火)

審議事項 1、正会員及び賛助会員としての入会の

承認を求める件について

新入会員登録41人、退会8人、賛助会員1法人 *承認

報告事項 創立30周年記念行事実行委員会報告

各部会・委員会活動状況について説明報告

「註」報告事項の詳細は、別掲の各部会・委員会報告を参照ねがいます。

(赤沢記)

地区委員会の開催

シルバー人材センターでは、中長期基本計画の中に織り込まれている「今後の活動は会員主導の形で進めていく」という主旨に基づき、会員の意見や要望をセンター運営に反映させ、会員とセンターとのパイプ役として、各地区委員のメンバーによる地区委員会が開催されました。

*地区委員会(8月26日)

会議は、各地区委員から地区の活動状況の報告、情報交換、懸案事項などについて話し合われました。

中でも共通した悩み(問題)として「地区懇談会への参加者が少ない」ことがあげられ、20年度の懇談会が各地区で開催される時期に入り、これを機に、より多くの会員の参加を呼びかけるにはどうしたら良いかが当面の課題となりました。

①地区懇談会に、多くの会員の参加を促し、親睦と、生の声を出し合う場とする。②委員会は、その声を持ち寄り、意見交換を重ね、全地区の統一性と活性化を促し、会員により身近な地区委員会として、体制の一翼を担ってもらおう等、活発な発言が交わされ大変意義のある会議と

なり、地区懇談会の存在価値も高まることと思えます。

五社委員長は「センターの未来のために、元気な地区活動にしていきたい」と締めくくりました。

会議後、2、3の委員から「このような地区委員会が開催されることは非常に良いことであり、我々もぜひ推進していきたい」と心強い言葉がありました。

大いに期待しながら、今後を見守っていききたいと思えます。



地区委員会

地区懇談会 開催及び予定

◇柳瀬地区 10月4日(土) 13時

柳瀬公民館

◇松井地区 10月10日(金) 11時

老人福祉センター・うしぬま荘



表具職班の活動

8月28日、センターで表具職班の会議を取材しました。

メンバーは現在7名。仕事内容は、襖・障子の張替え、網戸張替えです。

2月と8月が比較的に暇で、俗に言う28(ニツパチ)である。その閑散月に年2回の会議を行っています。

現状は、生活様式の洋風化で、襖・障子の少ない家へと変化し、仕事量も下降の傾向にあります。

会議の内容は、一般へのPRの方法、作業上の注意事項の再確認、お客様からの苦情への対応策など、各人の現場での現況報告を交えながら話し合いが行われました。

表具班の課題は、

- ・会員の高齢化で人材確保の問題
 - ・駐車場のないお客様への対応策
 - ・欲をいうなら共同作業所の設置
- など課題は多いが、本日の内容を今後の仕事に反映させるべく努力をする事を確認しあいました。

行事としては、恒例の市民フェスティバル10月25日・26日で、当シルバートのPRとして障子・網戸張替えの実演を行います。

センター

◇小手指地区 11月15日(土) 11時
老人憩の家・こてさし荘

◇三ヶ島地区 12月5日(金) 11時
狭山ヶ丘コミュニケーションセンター

12月末までに、7地区の懇談会が開催または予定されています。該当地区の懇談会に多くの会員が参加されることをお願いいたします。

各地区懇談会の取材報告をご期待ください。
(岩崎記)

(岩崎記)

おじゃましまーす

職場訪問記

(45)

(株)木下フレンド

暑さ厳しい7月29日(火)、所沢IC入口際に一般企業等から排出される産業廃棄物の、収集からリサイクル・処分まで、一貫して自社処理で展開している業界大手の(株)木下フレンドさんを訪問、所沢工場管理課西沢課長さんと武石課長代理さんにお話を伺いました。

会社理念として「人と環境が調和した社会作り」を掲げており、市内3カ所(本社・荒幡・三ヶ島)に事業所があり、私たちの仲間24人が就業しています。

受付で、義務付けられたヘルメットの着用に手間取りながら、案内役を引受けていただいた武石さんの後を追いつ、階段を下りると眼前には、置き場の拡張工事でショベルカーがうなりを上げて整地していました。

運搬車の出入りも多く、各作業工程に別れた工場内部には、集荷物がうず高く山積みされており、轟然と

した機械音と共に手際よく次々と処理されていました。

毎日夜11時から、県下や都内に約160台のトラックが集荷に向き、翌朝10時頃に事業所に戻ってきます。

その他、最終処分等のため、処分品の受け取りに、九州や山陰方面ナンバーの大型トラックが出入りして、場内は大勢の運転手や元気な若い社員で、明るく活気が溢れています。

会員が担当する作業内容は、ベルトコンベヤーの上に流れてくる一般廃棄物の処理をする、《分別作業チーム》(写真上)と、一日約1トンの《発泡スチロールの紙ラベルはがし↓粉砕↓加熱溶解↓再生原料の為の固形化作業チーム》の2組で、文字どおりチームプレイそのものです。



作業中のため、会員の皆さんとは一言二言の言葉を交わす程度しか出来ませんでした。真夏の暑さにも負けずに元気に取り組んでおられる姿を目の当たりに見て感動もし、まさしくシルバーの理念である「共働・共助」実践の場と受け止めました。

就業に際しての心構えは「健康で協調性がある事は勿論ですが、この仕事に対する充分な理解と、社会貢献をしているとの信念を持続できる人を要望します」とのコメントを頂きました。

今や国民生活を支える地道なインフラ事業でありながら、事業所の新設には周囲の理解が中々得られない厳しい状況が続いている事が悩みとお話しも伺いました。

「百聞は一見にしかず」

今回の職場訪問の機会を得て、廃棄物処理がこんなに大勢の人の手間隙を要し、中には使用可能なもの、未使用の品物もあり、一人一人が資源を大切に思い、正しく分別する大切さも改めて感じました。

(赤沢・陸浦記)

健康一ロケモ

3

インフルエンザ予防大作戦

感染経路を断つ

*人ごみや繁華街への外出を控える
*外出にはマスク
*うがい、手洗いをまめにする

*部屋の換気と適度な湿度を保つ

抵抗力をつける

*十分な栄養と、睡眠を心掛ける
*適度な運動をしましょう

免疫力をつける

*ワクチンによる予防接種を受ける
*予防接種の注意点
・流行する前に受けるのがポイント
・ワクチンの効果は約2週間後から
・65才以上は法定接種の適用あり

《詳しくは市、又はかかりつけ医へ》

症状

38度〜40度の高熱、悪寒がする
頭痛・関節痛・筋肉痛などもある
全身に倦怠感や疲労感がある

鼻水・咳なども出ることがある

注意!!高齢者は自覚症状が出にくい

早めの受診を

*治療には抗ウイルス薬が使われますが、発熱してから48時間以内が最も有効と考えられています。

(高柳記)



朱子(朱喜の尊称)

漢詩
 勸学の文 朱熹

謂うなかれ 今日学ばずして
 来日ありと

謂うなかれ 今日学ばずして
 来日ありと

謂うなかれ 今日学ばずして
 来日ありと

日月逝きぬ 歳我を延さず
 来年ありと

嗚呼 老いたり 是れ
 誰の愆ぞや

☆みんなの広場

☆みんなの広場

詩のこころ

三ヶ島地区 泉田四朗

『詩は志を言う』と言われている。『年を経ても後悔しないよう今日一日を大切にしよう』と言う教訓詩です

悠和会たより

《主要行事のご報告》

- * 7月 8日(火) プロ野球観戦 (西武ドーム)
- * 8月 24日(日) 納涼花火大会 (西武園ゆうえんち) 中止
- * 9月 18日(木)～19日(金) 一泊旅行
新瀨月岡温泉 (119名参加)
- * 9月 24日(水) プロ野球観戦 (西武ドーム)
- * 10月 8日(水)～11日(土)
会員作品展 (第2市民ギャラリー)

納涼花火大会は残念ながら

雨天  のため中止になりましたが...

秋の野球観戦、会員旅行、会員作品展は大勢の参加者で楽しく終わることが出来ました。



◎ 12月21日(日) 忘年会 獅子(西武ドーム店)

11時受付、11時30分開催

皆様の参加をお待ちしています。詳細は後日お知らせします。

サークルからのお知らせ

☆カメラサークル

写真展が盛大に開催されました。

8月15日～17日所沢市第2市民ギャラリーでカメラサークルによる初の写真展が行われました。出展者は会員43名中33名で108点の作品が展示されました。

自然や季節の風景、パノラマ写真、立体写真など力作ぞろいでした。

3日間、暑い最中にもかかわらず200名以上の参観者があり、賑やいだ雰囲気の中に無事終了しました。



所沢市民フェスティバル

昭和55年、市制30周年を記念して始まった所沢市民フェスティバルは、29回目を迎え、10月25日(土)26日(日)の2日間、所沢航空記念公園で盛大に行われます。

この祭りは、市民のコミュニティを目的に市民が主催する市民手作りのお祭りで、毎年数十万人の人出で大変な賑わいがあります。

今年も悠和会とセンターの共催で、福祉コーナーに出店します。当センターをPRする絶好の機会であり、①新しいパネルを作成して写真による仕事の紹介

②「仕事をください！」「仕事をしませんか！」のチラシ配布

③相談窓口の設置

④表具班、障子・網戸張替え実演

⑤植木班(初)、垣根作りの実演、等の新しい企画で来場者の関心と呼び込みたいと委員が頑張っております。

また、婦人部の皆さんの手作り小物作品は、毎回好評で今年も沢山の作品が集まっているとのこと。従来に増して充実した宣伝をしたいとの意気込みを感じました。是非皆さんお立ち寄りください。(陸浦記)



芋煮会へのおさそい

婦人部

紅葉が目にしみる今日このごろ、秋の味覚として、山形県で有名な芋煮会を例年通り開催いたします。地域住民の方々と会員との親睦を兼ねておりますので、是非ご近所の方やお友達を誘って、多散おでかけ下さい。

- *日時 12月2日(火) 12時～
雨天決行
- *場所 旧庁舎前広場



当麻市長へ要請

全シ協決議文及びセンター要望伝達
平成20年9月30日(火) 午後、小林理事長・五社副理事長・森田専務理事及び高齢者支援課課長(当事務)により、全シ協総会決議文を伝達。全国のシルバー人材センター状況説明と共に、当センターへの更なる支援協力を要請いたしました。それに対し、当麻市長からは前向きに善処したいとの回答をいただきました。



引き続き、西久保副市長と会談、支援協力の要請をいたしました。

お知らせ

協力事業所として登録しました

「トコロみまもりネット」

所沢市の高齢者支援施策で、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていくことができるように、地域住民、協力機関、協力事業所をつくるネットワークです。

センターは協力事業所として登録承認されました。

就業時のなかでのさりげない見守り・声かけなどによって、高齢者の何らかの異変に気づいた時は、市の高齢者支援課や地域包括支援センターに連絡をお願いします。

詳しくは「広報ところざわ」9月号2～3頁に記載されておりますのでご覧頂き皆様のご協力お願いします。

*芋煮会

野菜を分けて頂ける方は
11月28日にセンター事務局まで
ご持参願います。(婦人部)



〔健康相談日〕

11月17日(月) 午後
12月18日(木) 午後
1月15日(木) 午後

あとかぎ

◆創立30周年記念行事も肅々と挙行され、また記念誌も発刊されました。時を同じくして中長期計画も発表されました。これを機に新たなパワーで「共に働き・共に楽しむ、いきいき人生」を過ごしましょう。

◆今回は記念行事・催事が本号「つどいの樹」の発刊日まじかになり、早く正確に情報をお伝えできるようにと慌ただしい編集となりました。出来ばえは如何でしたでしょうか？

◆ご感想をお聞かせください。

◆毎号皆さまの声を掲載する「みんなの広場」欄を設けております。是非の投稿をお待ちしております。

◆感想文・随想↓20字詰め20行以内
短歌・俳句・川柳↓2句程度

◆※会員番号・地区名・氏名を明記

◆作品は不返・選考により掲載できない場合もあります。文意の変わらない範囲で編集することがあります。

◆提出先は事務局広報部あて

◆編集は、出来る限り多くの情報を平易な表現に努め、センター・各地区・そして会員皆さまの活動ぶりが一目でお分かり頂けるように努力してまいります。

(陸浦)